

〔Clin. Chim. Acta, 102, 161 (1980)〕

### Correlation between Dipeptidase Activity and Concentration of Human Liver Dipeptidase in Serum

MAMORU SUGIURA, YOSHIMASA ITO, KAZUYUKI HIRANO,  
SHUNJI SAWAKI\*, MASAKO MORIKAWA\*\*, MINORU TSUBOI\*\*

#### 血清中ジペプチダーゼ活性およびヒト肝臓ジペプチダーゼ濃度との相関関係

杉浦 衛, 伊藤吉将, 平野和行, 沢木俸二\*, 森川正子\*\*, 坪井 実\*\*

血清中のジペプチダーゼ活性とヒト肝臓ジペプチダーゼ (HLD) 濃度との関係について検討した。本酵素はヒト肝細胞の分別沈殿により可溶性画分に局在することが明らかとなった。血清中ジペプチダーゼ活性は健常人では  $10.3 \pm 2.3$  I. U./l であり, 急性肝炎 ( $63.2 \pm 27.8$  I. U. /l), 肝癌 ( $123 \pm 152$  I. U./l) および脾疾患 ( $68.0 \pm 18.1$  I. U./l) で顕著に上昇した。オクタローニー法による免疫二重拡散および免疫電気泳動において肝疾患々者血清と抗ヒト肝臓ジペプチダーゼ抗体との間に1本の沈降線が認められた。二抗体法 radioimmunoassay により血清中 HLD 濃度は, 健常人で  $13.3 \pm 7.3$  ng/ml であり, 急性肝炎 ( $191 \pm 146$  ng/ml), 肝癌 ( $171 \pm 106$  ng/ml), 慢性肝炎 ( $84.7 \pm 86.1$  ng/ml) のような肝疾患のみで高値を認めた。Fig. 1 に示されるように, 血清中の HLD 濃度とジペプチダーゼ活性との相関係数は  $r=0.930$  と非常に良い相関関係が認められた。

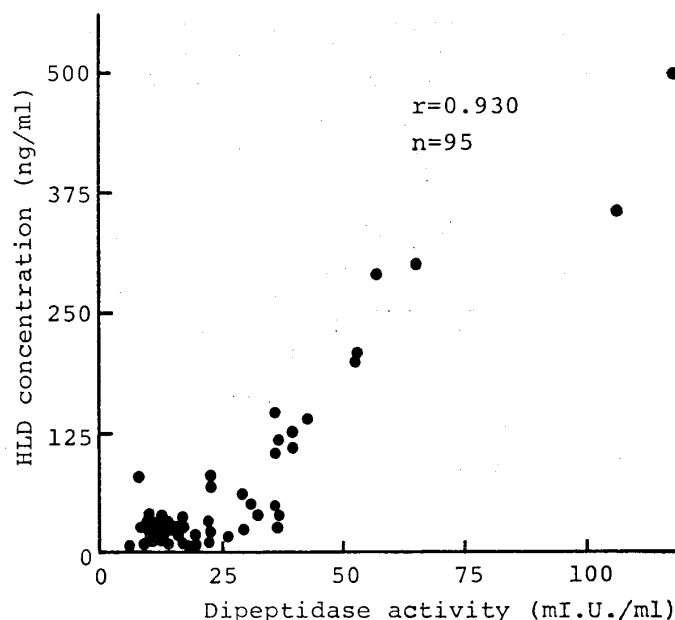


Fig. 1

\* 愛知医科大学

\*\* 東京薬科大学  
〔酵素剤の研究 第155報〕